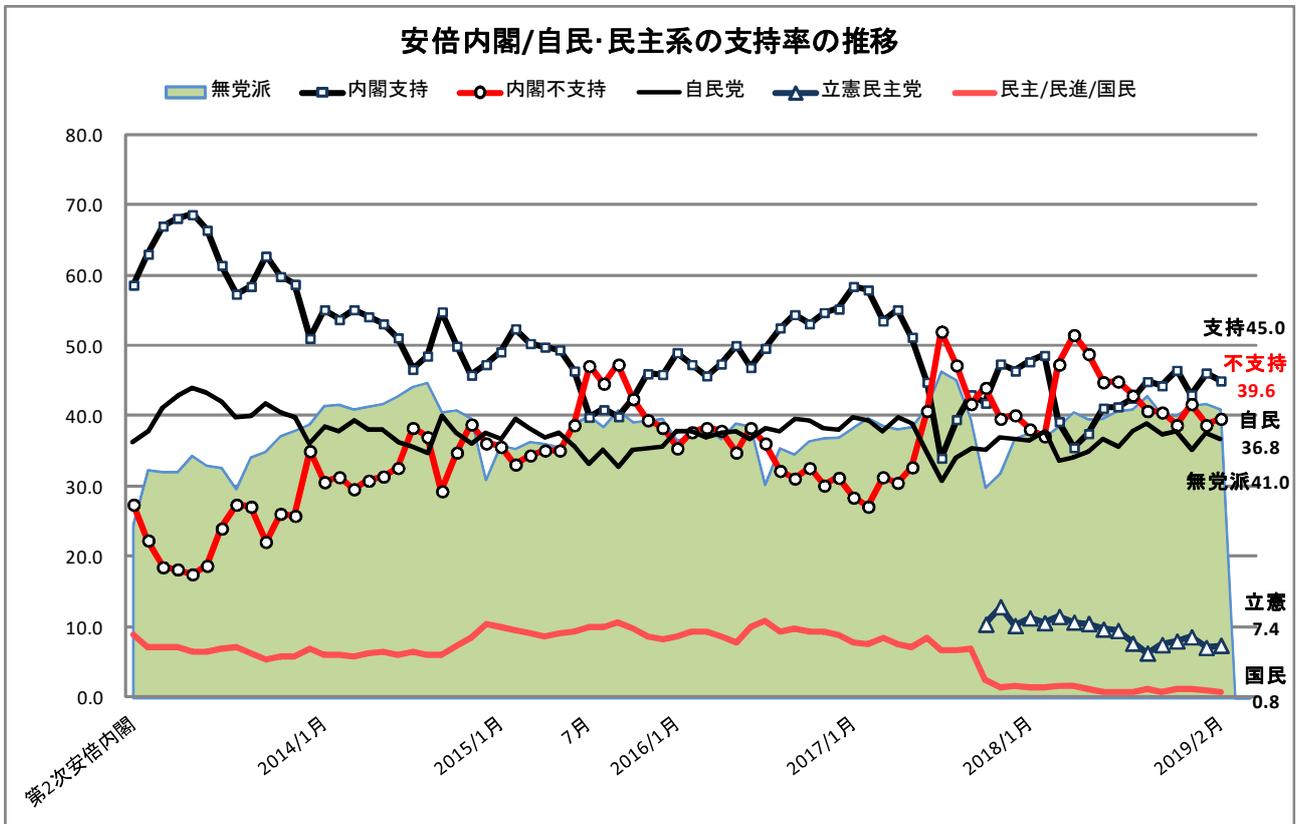


直近の世論調査から－2019.3.5(4割でもつれ合う支持率。北海道知事選の傾向)

1. 内閣支持率・不支持率/自民党支持率/支持なし…いずれも4割前後で並ぶ

①



① 安倍内閣の支持率は2月は45.0%(前月比▼1.2%減)、不支持が39.6%(+0.8%)になった。「高からず、低すぎず」といった曖昧な状態だ。これに自民党の支持率36.8%(▼0.7%減)、無党派41.0%(▼0.8%減)も入れると、図のように、4割のラインでもつれ合っているかのような奇妙な図柄になった。**統計不正問題**は今国会の最大の争点になったが、27日に発表された追加報告書は「不正

辺野古基地建設-政府の姿勢に

	支持する	支持しない
共同1.14	39.4	51.6
朝日2.19	32	56
読売2.25	36	47
ANN2.25	29	48
平均	34.1	50.7

沖縄県民投票を政府は尊重すべきか

	尊重すべき	そう思わない
ANN2.25	62	19

沖縄米軍基地は日本の安全保障に

	必要だ	必要でない
朝日2.19	73	24
読売2.25	59	30

(嘘)はあった」が「組織的な隠蔽はない」という不思議なものだった。統計不正はアベノミクスや「戦後最長の現在の景気回復」(政府発表)についての疑念も生んでいる。2月の世論調査でも79.3%が「実感していない」と答え、「実感している」の15.0%を大きく上回った(3社平均)。統計不正問題に対する政府の対応は69.7%が「不十分・不適切だ」と考えているにも拘わらず、内閣支持率や自民党の支持率に対する影響は「微減」にとどまっている。

② 辺野古の海の埋め立てについて賛否を問う**沖縄県民投票**は24日に投票が行われた。新基地計画について「反対」が

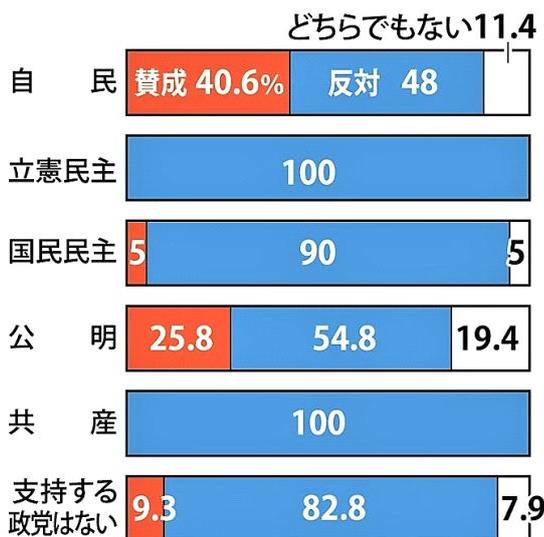
内閣支持率

	2月	支持	不支持
日経2.18	51	42	
毎日2.4	38	39	
読売2.25	49	40	
朝日2.19	41	38	
共同2.4	45.6	41.1	
時事2.17	42.4	34.5	
NHK2.12	44	37	
JNN2.4	52.8	44.3	
ANN2.25	41.8	36.7	
FNN2.18	43.9	42.9	
平均	45.0	39.6	
1月平均	46.1	38.7	
前月比	-1.2	0.8	

景気回復の実感はあるか

	実感ある	ない
JNN2.4	13	82
日経2.18	16	78
朝日2.19	16	78
平均	15.0	79.3
安倍政権で賃金上昇の実感はあるか?		
	実感ある	ない
ANN2.25	22	65
政府統計-政府の対応は		
	十分・適切だ	不十分
共同1.14	7.8	83.1
朝日2.19	15	61
ANN2.25	22	65
平均	14.9	69.7

沖縄県民投票 支持政党別の投票動向



434,273 票 (得票率 72.2%)、「賛成」114,933 票 (同 19.1%)、「どちらでもない」52,682 票 (同 8.8%) という結果になった (有権者数 1,153,591 人、投票率 52.48%)。この結果を受けて玉城知事は 3 月 1 日、安倍首相と会談。「県民の思いを真正面から受け止め、工事を止めてほしい」と、辺野古移設見直しを求めたが、安倍首相はこれまで通り応じない考えを示した。

これまでの世論調査でも「辺野古基地建設に反対」は常に多数で、2 月も政府の基地建設姿勢に賛成は 34.1%、反対 50.7% (4 社) となっており、県民投票結果を「政府は尊重すべき」が 62%、「そう思わない」19%と民意は明確だ (ANN)。県民投票の出口調査では、自民党の支持層でも反対が 48% に上り、賛成 40.6%、どちらでもない 11.4% を上回った無党派層の反対は 82.8% に達している (共同)。

③消費増税 10%についても、2 月の調査は「賛成 40.0%・反対 51.7%」

今年10月に消費税10%に(賛否)		
	賛成	反対
共同1.14	45.0	51.0
JNN2.4	37	55
ANN2.25	38	49
平均	40.0	51.7
NHK2.12	31	41
どちらとも 21		
ポイント還元・商品券発行などの対策		
NHK2.12	①手厚すぎる 20	②妥当だ 21 ③不十分 35

と反対基調が続いているし (3 社)、安倍首相の下での憲法改正にも「賛成 32.9%・反対 56.7%」(共同)と、これまでと同様に反対が多数。さらにしばらくぶりに実施された調査項目「原子力発電所の再稼働問題」についても「賛成 32%・反対 56%」(朝日)という傾向が続いている (前回調査は 2017 年 3 月の「賛成 26.0%・反対 54.5%」2 社平均)。

安倍首相下での憲法改正に

	賛成	反対
共同1.14	32.9	56.7

9条改憲理由-自治体の6割が非協力的

	納得する	納得しない
ANN2.25	21	52

原子力発電所の運転再開に

	賛成	反対
朝日2.19	32	56

福島原発事故は風化しつつあると

	そう思う	そう思わない
朝日2.19	71	23

これまでも安倍政権を取りまく主要政策で政権批判が多数となり、内閣の支持と不支持とが相反・拮抗している状態が続いている。「世論の分裂の固定化」「流動的世論の幅の減少」等と語られるが、世論は「ともかく政権の安定」を求めているかのようだ。

2. 参院選に向けて一野党統一候補に賛成53.5%、比例投票の傾向変わらず

④いよいよ参院選挙を意識した調査項目も増えてきた。1 月にまとめた「参院選挙で野党統一候補」を巡る調査では、2 月も「統一候補で戦うことに賛成が 53.5%、反対は 28.5%」(2 社)。昨年 9 月以降ずっと野党統一候補を応援する傾向が続いている。新たに提起されている比例選挙での「候補者名簿一本化」に対しては「賛成 40.5%・反対 37.7%」(FNN)と拮抗し、国民民主と自由党とによる参議院統一党派結成には「賛成 12%・反対 34%・どちらとも 44%」で否定的反応の方が強いようだ。参院選で改憲勢力が「2/3 を維持」することには賛否が拮抗 (毎日と日経で正反対)。与党の過半数維持には「賛成 47.5%・反対 40.0%」となっている。

参院選では野党統一候補で			立憲・国民などの戦い方について			参院選で与党が過半数維持		
	賛成	反対		賛成	反対		賛成	反対
日経2.18	57	25	FNN2.18	①一つにまとまって戦う 33	日経2.18	49	39	
読売2.25	50	32	②選挙区で候補者一本化など協力 29.3	読売2.25	46	41		
平均	53.5	28.5	③まとまって協力する必要ない 31.3	平均	47.5	40.0		
野党の候補者名簿一本化に			参院選で改憲勢力2/3維持に期待?			衆参同日選挙に対する賛否		
	賛成	反対		期待する	期待しない		賛成	反対
FNN2.18	40.5	37.7	毎日2.4	36	47	FNN2.18	41.8	42.4
国民・自由両党が統一党派結成			日経2.18	47	38			
	評価する	評価しない	平均	41.5	42.5			
NHK2.12	12	34	※どちらとも44					

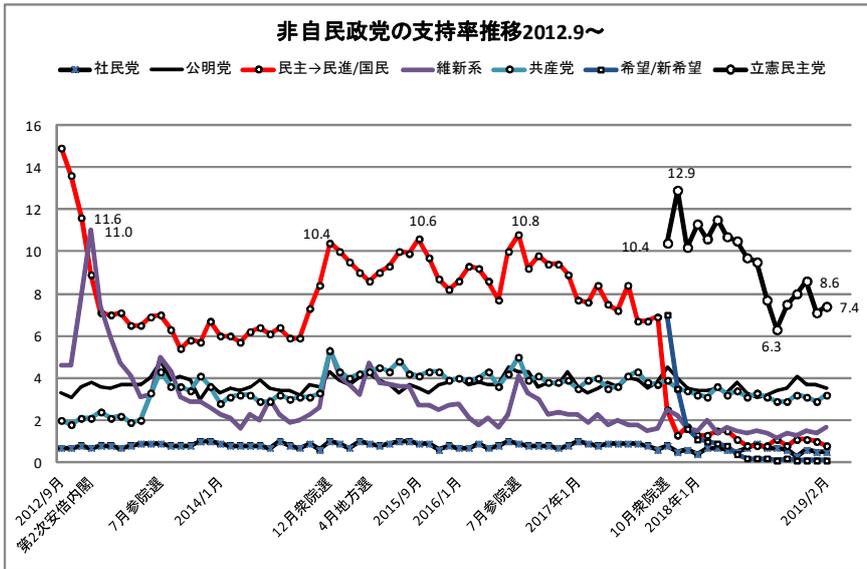
ことには賛否が拮抗 (毎日と日経で正反対)。与党の過半数維持には「賛成 47.5%・反対 40.0%」となっている。ちなみに 17

政党支持率

2月	自民	立憲	国民	新希望	公明	共産	社民	維新	自由	支持なし
日経2.18	42	9	1	0	3	4	0	1	0	33
毎日2.4	31	9	1	0	3	3	0	3	1	42
読売2.25	35	6	0	0	3	2	1	1	0	47
朝日2.19	37	6	1	0	3	2	0	1	0	41
共同2.4	40.6	8.6	1.2	0.6	3.7	3.8	1.1	2.8	0.8	35.3
時事2.17	25.4	3.4	0.3	0.0	3.3	1.8	0.0	1.0	0.3	61.5
NHK2.12	37.1	5.7	0.6	0.0	3.3	3.1	0.4	1.2	0.2	41.5
JNN2.4	40.6	6.3	1.2	0.0	4.2	3.3	0.4	1.4	0.1	37.0
ANN2.25	44.2	9.9	0.8	0.0	4.5	4.6	1.4	1.6	0.2	32.6
FNN2.18	35.2	9.6	0.8	0.3	4.3	4.1	0.7	2.8	0.1	39.3
平均	36.8	7.4	0.8	0.1	3.5	3.2	0.5	1.7	0.3	41.0
1月平均	37.5	7.1	1.0	0.1	3.7	2.9	0.5	1.4	0.2	41.8
前月比	-0.7	0.2	-0.2	0.0	-0.2	0.3	-0.0	0.3	0.0	-0.8

年衆院選後の調査では「改憲勢力 2/3 維持」には賛否が拮抗し、安倍政権の継続には「反対が多数」という傾向だった(朝日・毎日)。

⑤各政党の支持率は2月も大きな変化は



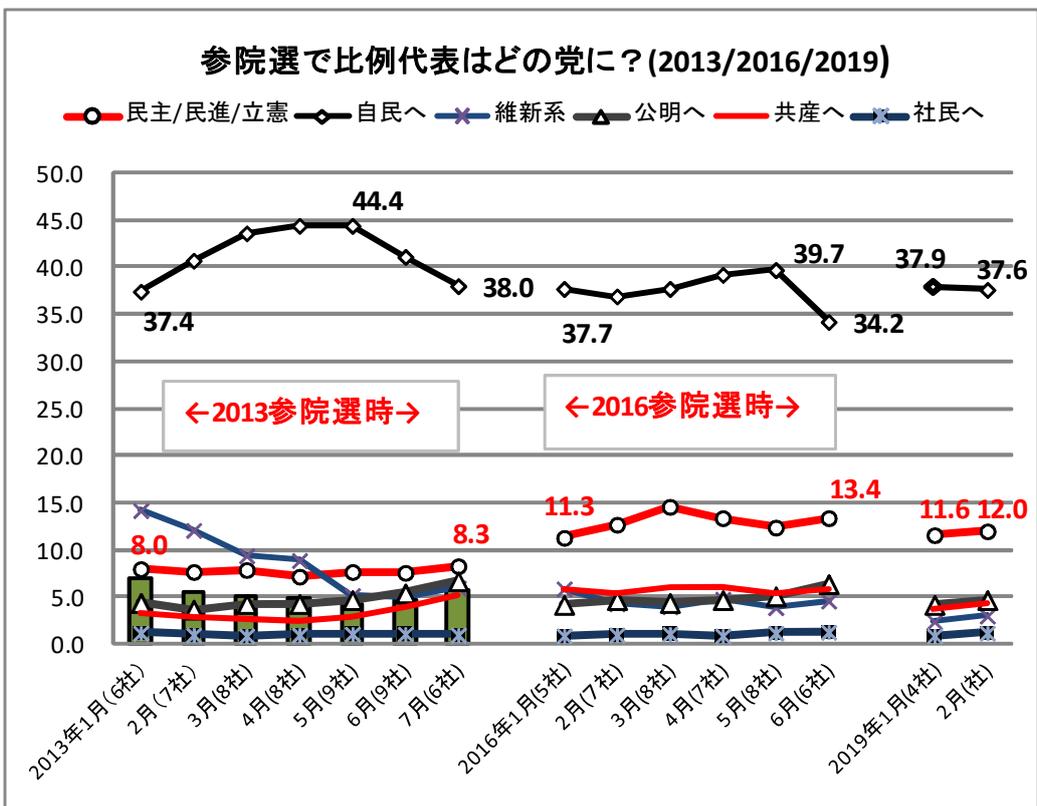
なかった。先に紹介した自民党が 0.7%減の 36.8%で、他に国民(0.8%)と公明(3.5%)が微減。立憲はわずかだが 7.4%に微増した。

また「参院選挙では比例代表はどの政党に」という調査でも、先月とあまり変わらない(7社平均)。

「自民党へ」が微減の 37.6%(先月は 37.9%)、「立憲民主党へ」は微増 12.0%(先月 11.6%)で、3年前、6年前の図を見ても分かるように、自民党は最終的には、

この比率は「変わらないか、やや下がる」傾向を示し、得票率もほぼ近似的数値になる。対して野党第一党は過去のデータでは、直前の調査結果の約 1.6 倍の得票を得ていた(前月レポートのデータ参照)。

他の政党では「国民へ」が 1.3%(先月と同じ)、「公明へ」4.7%(同 4.2%)、「共産へ」4.4%



(同 3.7%)、「社民へ」1.2%(同 0.9%)、「維新へ」3.0%(同 2.4%)、「自由へ」0.4%(同 1.0%)、

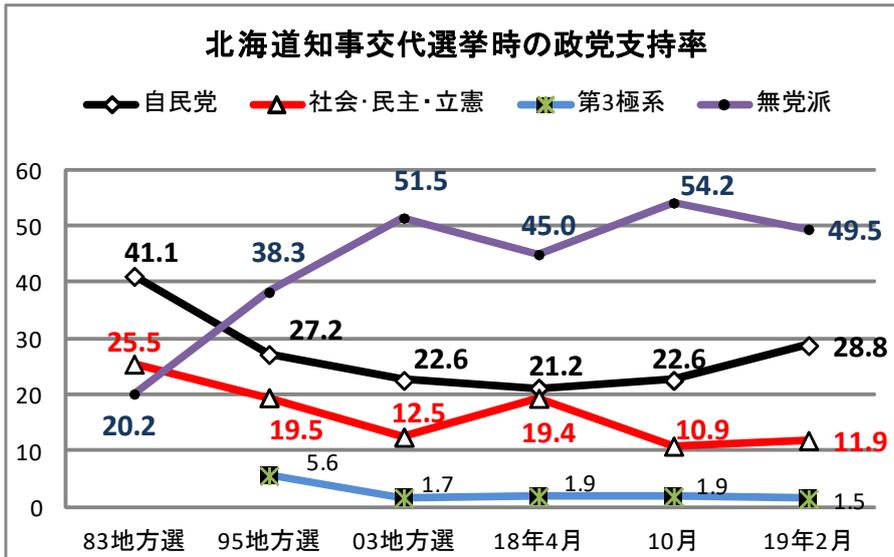
「希望へ」0.3%(同0.3%)だった。

3. 北海道知事選挙の基本傾向－その他の調査項目(抜粋して掲載)

北海道知事選挙－知事交代時の得票率構造

年	社会・民主系	自民系	共産他	
1947	53.8	46.2		※田中vs有馬
1959	46.6	52.8	0.6	※横路vs町村
1971	49.1	49.6	1.3	※塚田vs堂垣内
1983	49.0	46.8	4.2	※横路vs三上
1995	58.3	27.3	14.4	※堀vs伊東
2003	27.0	29.3	43.6	※鉢呂vs高橋、磯田、伊東

⑥北海道知事選挙は16年ぶりの新人対決による「知事交代」選挙になる。過去の「知事交代」選挙では、左表のように1995年の「堀 VS 伊東」選挙を除いて接戦での勝負になった。「二極対決」の象徴となる戦いであった。今回も「鈴木・石川」の対決型選挙となるが、



2.27道新記事によると「前回と比べて関心が高い(今回83%－前回79%)」「無党派の流れ注視」とあった。左図は過去3回の知事選時の政党支持との比較を見たものだ。1983年選挙は、自民優位(自民支持率41.1%)のもとで横路が接戦勝利した(この時社会党は25.5%の支持)。2003年選挙は候補乱立気味になったが、鉢呂・高橋の差はわずか2.3%、6万2千票。この頃から無党派層が5割前後に達している。

今回は2003年選挙時と比べて、自民と旧民主系との力量構造はほぼ同じで(誤差の範囲内)、勝敗を決するのは無党派の支持を如何に獲得出来るかになる。争点は明瞭になり出しているし、何よりも、どのような道民的ドラマを作り出せるかが問われるだろう。ちなみに2017衆院選時比例投票では、道内の無党派の投票先は「立憲に32%、希望に14%、自民には18%」となっていた(道新出口調査)。

厚労省・政府説明(隠蔽)に納得?		
納得できる	納得できない	
5社平均	13.0	74.0
政府統計の信頼がゆらいだ		
ゆらいだ	ゆらがない	
2社平均	71.0	16.5
朝日2.19	67	21
厚労省の再調査に中立性は?		
あると思う	思わない	
JNN2.4	10	76
政府統計は信頼できるか		
信頼できる	できない	
FNN2.18	14.6	79.1
勤労統計－厚労省の隠蔽はあったか		
あった	なかった	
時事2.17	73.5	7.4
勤労統計－厚労省の隠蔽は必要か		
辞任すべき	必要ない	
共同1.14	46.3	42.2
2社平均	40.7	44.1
政府統計問題に安倍内閣の責任は		
責任ある	責任ない	

日韓レーダー問題での政府対応は			
支持する	支持しない		
2社平均	58.5	27.0	
韓国側の主張に			
納得できる	納得できない		
JNN2.4	3	87	
元徴用工問題での政府対応			
評価する	評価しない		
日経2.18	64	23	
韓国議長の天皇謝罪求める発言			
撤回すべき	その必要ない		
FNN2.18	82.7	12.0	
慰安婦問題等は主にどちらに問題?			
①韓国側に問題	②日本側に問題	③両国に問題	
FNN2.18	67.7	3.7	26.7
韓国という国を信頼できるか			
信頼できる	信頼できない		
FNN2.18	13.9	77.2	
日韓関係の今後のあり方について			
関係改善必要やむえない			
読売2.25	22	72	

政府は2島返還、2島共同経済活動論		
賛成	反対	
毎日2.4	46	36
領土問題－安倍在任中に解決?		
そう思わない	解決できる	
共同1.14	88.2	7.3
共同1.14	①4島一括返還 21.5	
	②2島先行、残りは継続協議 54.5	
	③2島で決着 7.1④返還求めない 8.4	
安倍首相在任中に決着させるべきか		
決着させるべき	そう思わない	
時事2.17	38.7	38.3
首相は「固有の領土」を使わなくなった		
納得できる	納得できない	
朝日2.19	32	47
米朝首脳会談で北朝鮮の非核化は		
進展する	進展しない	
2社平均	23.0	67.8
日朝首脳会談に期待するか		
期待する	期待しない	
ANN2.25	57	33

西暦と元号のどちらを使うか		
毎日2.4	①両方 34	
	②西暦 34	
	③元号 25	
政府は新元号を4.1に公表の方針		
毎日2.4	①4.1で良い 47	
	②4.1より早く 24	
	③天皇即位と同時に 18	
新しい時代に希望を持っているか		
	持っている	持っていない
FNN2.18	72.2	20.1
ふるさと納税制度に対する賛否		
	賛成	反対
FNN2.18	67.4	21.8
返礼品を地場産品に限ることに		
	賛成	反対
FNN2.18	69.2	22.5
制度違反自治体を減税対象除外		
	賛成	反対
読売2.25	48	40
返礼を寄付額の3割以内に抑えることに		
FNN2.18	①3割超を認めるべき 21.9	
	②3割程度で良い 52.7③3割より低く 20.4	

☆これまでのデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用してください。
<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)